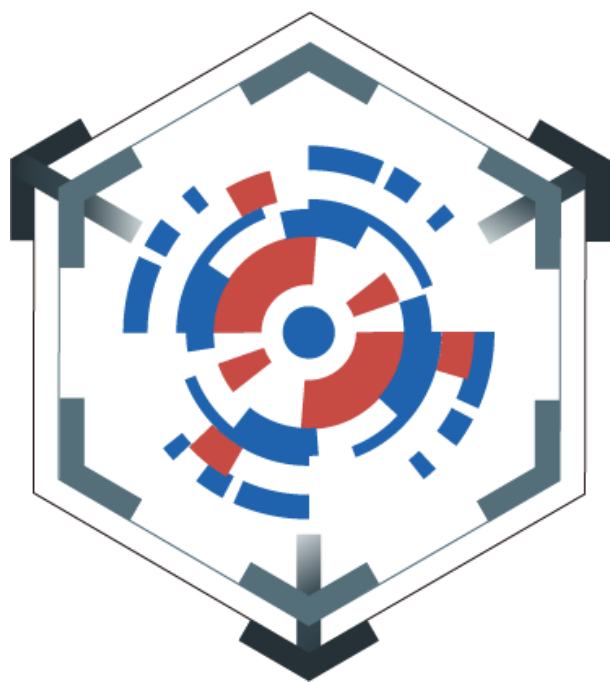




バーチャル学会2021 ご協賛のお願い

会議名称: バーチャル学会2021

日時: 2021年12月18日(土)

場所: バーチャル空間(VRChat、cluster、ほかVRプラットフォーム)

運営: バーチャル学会2021実行委員会

ご挨拶

謹啓 時下いよいよご隆盛のこととお喜び申し上げます。

昨年に続きバーチャル学会2021を2021年12月8日に開催することとなりました。バーチャル学会は学術発表を通じVR空間での価値創造をアカデミック、ユーザー両面から促進する取り組みとして2019年より開催され、今年で3回目となります。近年ますますVR技術への関心が高まる中、学術、ビジネス、ユーザーの垣根を越えて様々な取り組みや新たな技術が日々更新されています。これらは一重にVR関連技術の開発、応用に取り組まれている皆様方のご尽力の賜物かと存じます。また近年猛威を振るう新型コロナウイルス感染症拡大によりオンラインVRコミュニケーションツールとしての立場を確立しつつあるVRSNSもまた様々な領域にて活用されております。さらにVRSNSは単なるコミュニケーションツールにとどまらず人々が日常的に交流し、より良い環境となるようにユーザー自身による自発的な開発や地域活動が行われる社会性を備えた一つの世界として確立しています。電子情報空間に存在する実質的存在環境はこれまでもインターネットコミュニティとして存在しておりましたが、三次元空間性を備え一人称視点で没入可能な環境が成立したことで人間の認識上における実存空間としての次元が引き上げられ、まさに仮想を越えた人工的現実空間として我々人類の新たな活動拠点となるでしょう。

私達バーチャル学会は現在の実質的電脳空間(VRSNS)にて育まれている社会性、文化を持続可能なものとするためには継続的なVR空間における価値創造、外部からの価値流入、外部との価値交換が必要であると考え、電脳世界に学術の光を差し込みリアルとバーチャル、ユーザーと専門家というように異なる領域をつなぐことで共創による価値の活性化を振興します。そこで本年もこれまで同様リアル、バーチャルの垣根を超えたゲスト、参加者をお呼びし電脳空間の特性を最大限に活かした学会体験を創造してまいります。またその過程において「学会の本質とは何か」「電脳空間の価値とは何か」という部分に注力し、物理的な学会をそのまま再現するのではなく1から体験を創造しなおすという新時代の学会構築を行っていきます。ユーザー主体の組織である点を活かし、既存の学会組織では困難な挑戦的目標や大胆な課題解決手法を選択し、時流に沿った、むしろ時流を創るような一連の学会創造を目指します。そのため既存学会の伝統的な手法(口頭発表、ポスター発表、基調講演)を踏襲しつつ、体験の本質を提供するためにVR技術をどのように活用できるか(VRプラットフォームを使った多人数セッション、VR空間を使ったデモ展示など)を設計してまいります。さらに今年度はVR技術を異分野へ広めるため様々な領域からアウトリーチプレイヤーを招聘する予定です。

そして私達の掲げる「電脳空間の社会的活用を通じた電脳世界の樹立」は電脳世界のみならず物理世界にもデジタル情報を通じて影響を及ぼします。内閣府が提案している科学技術政策ではSociety5.0として情報空間と物理空間が相互に連携することで経済発展と社会的課題の解決を図る人間中心の世界を目指しています。まさにVR技術の活用はこの人間中心の世界を作るためにかかせない技術であり、情報を人間が知覚しやすい形で捉えるというヒューマンコンピュータインタラクションの概念を体現したものです。この情報空間と物理空間をつなぐため、双方向からお互いの空間へのアクセスをする必要があります。バーチャル学会では情報空間である電脳空間から物理空間へのアプローチを試み、学術という共通の価値を通して人材交流、文化交流を促進してまいります。

このような挑戦を行うために運営は可能なかぎり自らのリソースを用いて開発、運営を行っておりますが、内容を充実させ、より大きなインパクトを生み出すためには皆様のご支援を仰がざるを得ない状況です。本大会の趣旨にご理解とご賛同をいただき、バーチャル学会へのご協賛をいただきますようお願い申し上げます。

開催概要

会議名称: バーチャル学会2021

日時: 2021年12月18日(土)

場所: バーチャル空間(VRChat、cluster、ほかVRプラットフォーム)

参加費・参加条件: なし

日付	概要
9月4日	事前説明会、発表受付開始
11月6日	ペーパー、ポスター申込〆切、デモ〆切
12月18日	学会当日

バーチャル学会の発表者数は増加しており、2021年は昨年にも増した参加者を想定しております。

2019年: ポスター発表12件、基調講演3件、のべ参加者数300人以上

2020年: ポスター発表32件、口頭発表10件、基調講演2件、のべ参加者数600人弱

プログラム詳細

- ポスターセッション(想定プレゼンター: 最大100人)
VRChatにて専用ワールドを作成し、発表者、聴講者が自由にディスカッション可能な形式で実施します。コアタイム制とし聴講者が自由に発表を見て回れるようタイムスケジュールを設定します。
- 口頭発表(想定プレゼンター: ポスター発表者の中から希望者)
clusterにて1人3分の発表をしていただきます。本年はLT形式とし、ポスター発表に加え口頭発表で全体にアピールできる場として活用していただきます。発表はYoutubeLiveによる配信を行い、続くポスター発表にて口頭発表者はスペース優遇などがなされます。
- OS(オーガナイズドセッション)(4~6セッション想定)
テーマに沿ったゲストを複数人お呼びし、パネルディスカッションやトークショー、ワークショップなどを行います。内容は各OSごとに企画を調整します。
- 基調講演(想定プレゼンター: 3人)
clusterにて1人45分(質疑、転換込み)にて講演をお願いしております。内容は「VR技術により未来はどのようなものになるか、そして私達の世界はどのように変化するか、どう変化させたいとお考えか、ご自身の取り組みを踏まえてVRに関心のある一般層に向けたもの」としております。講演はYoutubeLiveによる配信を行い、リアルタイムに視聴者からの質問を受け付ける(公演終了後に司会より質問を行います)。
- このほか開会式、閉会式、懇親会を執り行います。

検討事項・挑戦的目標

バーチャル学会2021では昨年にも増して挑戦的目標を掲げております。以下に検討事項を記載いたします(これらは現在目標としていることであり、確実に実施されるとは限りません)。

- VR空間でのデモ展示
- OS枠の新設, 異分野からのアウトリーチを促進
- 多様なVRプラットフォームの活用
- バーチャル学会全てのプログラムにアクセス可能なハブワールドを新設
- バーチャル空間での学会開催ノウハウの公開、ツールの公開
- 自動更新ポスターの導入
- 会場マップ、パンフレット、名札等の学会感を演出する装飾の用意

協賛者様とバーチャル学会の関わり

ご協賛の皆様にはバーチャル学会に参加いただいた皆様と交流できる機会をご用意しております。下記ご協賛パッケージよりご協賛額をお選びください。

ご協賛プランは数に限りがございます。

プラン名	ご協賛額	プラン内容
ノーマル	10,000円	バーチャル学会2021HPにロゴ掲載
ブロンズ	30,000円	ノーマルプランに加え バーチャル学会2021VR会場にロゴ掲載
シルバー	50,000円	ブロンズプランに加え 参加者へメッセージの送信(運営が代理投稿)
ゴールド	100,000円	シルバープランに加え ポスターセッションに企業協賛枠をご用意
プラチナ	500,000円	ゴールドプランに加え オープニング、クロージング等にてご挨拶 ランチョンセミナー等バーチャル学会2021内でセミナー、OS等の実施、その他ご希望の連携方法を個別に検討いたします

協賛募集要項

- 名称
 - バーチャル学会2021協賛金
- 募集期間
 - 2021年8月～2021年12月18日まで
- 協賛金の使途
 - バーチャル学会2021の事前準備ならびに当日運営経費に充当
- 協賛金振込方法
 - 指定口座へお振込みください
- 申し込み方法
 - バーチャル学会実行委員メールアドレス(virtualsocietyoffice@gmail.com)までご連絡ください

運営組織

バーチャル学会実行委員

実行委員長

電気通信大学大学院 博士後期課程 亀岡嵩幸

バーチャル学会の理念は人類の新たな活動拠点としての電脳空間の文化を育むこと、そこから生まれた新しい価値を社会に展開していくこと、アカデミックな立場から新たな学会体験を模索していくことです。電脳世界をより豊かにすべく実行委員一同挑戦的な姿勢を崩さず取り組んでまいります。バーチャル学会へのご協賛を心よりお願い申し上げます。

ご要望・ご質問など、お気軽にお問い合わせください。

【お問合せ先】 virtualsocietyoffice@gmail.com

参考リンク

過去のバーチャル学会

バーチャル学会2019: <https://sites.google.com/view/virtualconference-2019>

バーチャル学会2020: <https://sites.google.com/view/virtualconference2020>